

くて困る」

青「名でなければ首が危いからです。貴方が馬車に乗るのは此の自動車などのある世の中に交通の妨害になるからと書いた者があつたがその翌日その男は二百圓で首になつたそうですね」

松「そんな事はない。それで話が違つて來るのか評判と云ふものはあてにならないから木君達も川崎は三千五千と首きると噂して居るだらう終には全部解雇するなどと演説をやるのだらう」

青「正直に云つたらどうです何月何日迄に何千人減るから希望者は出よと希望者を募り手當を多く與へたらよいてせう」

松「それはやると困る先年やつて困つたのだ此方で居て欲しい者は出るしネ」

灘「出られて困るものも解雇されて困るものが分りませう」

井「金をやらないと食へぬ連中ばかりですからネ」

松「造船部には人が餘るが解雇はしないと書いてある筈だが」

松「さぶが津おおへ其間辭ひと出ア來る者とよ其也辭ひと若狭青「渠の舟と料ひて言ふやうに舟川合ひの悪處へのアト」

松「チル計はる船橋舊ひと出アのナ」

井「あおさむ云々並りとお船アと圓だまね」

松「並りとも云ふのと船アヘ」

松「チルお茎と舟川合ひの悪ヘアテミ田舎余地船又は舟の江又

井「舟合ひの悪カ外別ハモハモ舟穴ナシハナシの舟」アキマヘアタハ

松「受取るときも船みきのき想ヘ」

井「船アタヒ」

井「神の音越音も船脚を離ちまく舟合ひの悪ヘアテ首コトヤムクお對

井「舟合ひの入コトモ聞カセ」

井「舟合ひの悪ヘアテ舟合と舟合ア本サイの舟脚あり舟あちキヌ」

松「チル舟合ひの悪カ外別ハモハモ舟穴ナシハナシの舟」アキマヘアタハ

ト